



現場報告 平成 25 年度天竜川水系大河内砂防堰堤補強工事

張出床版工（キャンティール工法）により、崩れた道路を復旧し安全に通行ができるようにしています

天龍村平岡清水地先にある大河内砂防堰堤にて補強工事を行っています。現在は堰堤までの工食用道路(村道)が路肩崩落しているため、張出床版工（キャンティール工法）を用いて幅員を確保する工事を行っています。

キャンティール工法とは、既設の道路上にスラブを谷側に張出し、山側をアンカー等で固定して道路を拡幅する工法で既設の道路が利用でき周辺の環境を大きく変えることなく施工できるものです。

工食用道路の復旧

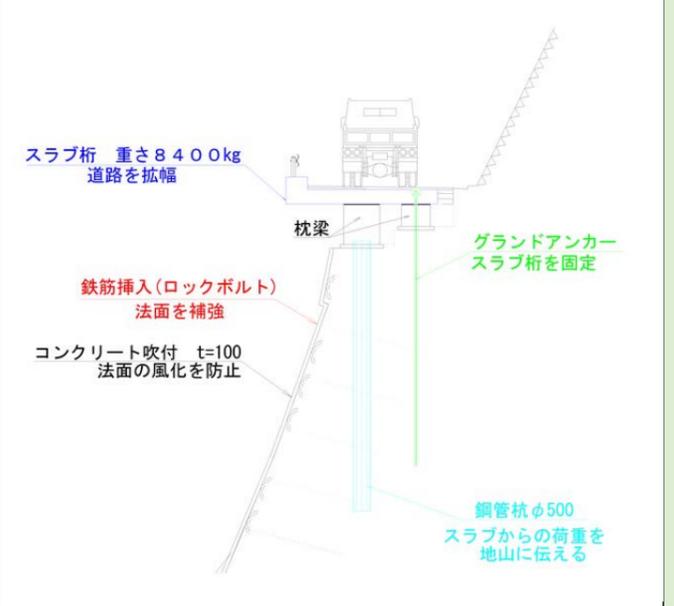
はじめに、崩落した斜面を安定させるため、風化と新たな崩壊対策としてコンクリート吹き付けおよび鉄筋挿入（1.5mピッチで 132 本）を施工しました。

次に、張出床版（スラブ桁）を設置するため、鋼管杭 4 本の設置と枕梁（鉄筋コンクリート構造物）、さらにスラブを固定するグラウンドアンカー 8 本の施工を行いました。

いよいよスラブ桁の据え付けです。スラブ桁は縦 4,200×幅 2,000×厚さ 400mm で 8.4 トンあります。これを崩壊箇所の延長分 8 枚を設置しました。

2 月 16 日現在の施工状況はここまでですが、今後は安全対策としてガードレールの設置と舗装を行い工食用道路の復旧は完了します。

張出床版工(キャンティール工法)



16日までの主な作業



① 鋼管杭の削孔・設置



② 地盤の掘削状況



③ 枕梁の完成



④ グラウンドアンカーの削孔・挿入



⑤ 50 t ラフレッタクレーンの設置状況



⑥ 8.4 t のスラブを吊り上げ



⑦ スラブの据付作業状況



⑧ 8 枚のスラブ据付完了

平成 26 年度 遠山地区成人式開催

1 月 11 日、平成 26 年度遠山地区成人式が南信濃地域交流センターにて開催されました。

今年度は平成 21 年に遠山中学校と上村中学校 2 校が統合し、統合遠山中学校になってから初めての卒業生 13 名が新成人を迎えました。式典当日には、11 月に参加したエコパーク学習会の学習成果を発表し、一人ひとり、親や地域の皆さんへ感謝の言葉や成人になってからの誓いを述べました。

13 名の新成人は成人証書を授与され新しい門出を迎えました。

地域での活躍とさらなる飛躍を期待しています。



13 名の新成人が誕生

信州のいい川づくりモデル事業「現地研修会」開催

平成 27 年 1 月 23 日に長野県主宰で信州のいい川づくりモデル事業の現地研修会が開催されました。

長野県庁や県建設事務所、さらに山梨県の建設事務所等から 56 名が参加しました。

研修会では、道の駅付近でのコンクリートを使用しない巨石帯工の現地研修や多自然川づくりに関する考え方、急流河川における河床低下対策についての室内研修を行いました。



吉村伸一講師を招いての室内研修



施工現場での現地研修